九月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺

幸せな病人になることはできる

世間の常識（人間の物差し）では『病人は不幸・健康は幸福』と思っています。が、例えば、健康でパチンコ依存症になったり・浮気して、家族を苦しめる人もいます。病人は、パチンコや浮気もできないだけ、ましかもしれません。また、不規則な生活・食べ物の好き嫌い・運動不足・ストレスが病気の原因と分かれば、今までの生活を見直し、『災いを転じて福となす（諺）＝不幸を、返って幸せになるようにする』と工夫し・元気になった人もいます。仏様の救いは、『病人は病人のまま、幸せな生き方ができる』ことに気づかせて下さることです。

『無病息災・交通安全・商売繁盛・合格祈願』など、願い事をする祈りは、我欲を膨らませ・自分の思い通りにならない時は『神も仏もあるものか』と腹立たしくなります。『仏様、有り難うございます』との、報恩感謝の『南無阿弥陀仏＝赤ん坊が母に抱かれ・安心して眠るように、阿弥陀様に全てお任せします』が親鸞聖人の念仏です。